

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス オレンジ2

公表日 2026年3月31日

利用児童数 20名

回収数 15 回収率 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1			利用人数や活動内容により個室・ホールを使い分け、活動や成長に合ったスペースを心がけています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2		5	放デイ人員配置基準に従い常時規定人数を満たし、児童2～3名に対し職員1名以上配置しております
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			1	完全バリアフリーにはなっていませんが、棚や玩具等障害物を置かず、移動・活動時支障のないよう配慮しております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			2	使用の有無に関わらず、毎日床・壁に至るまで全ての生活空間を消毒・清掃しております。また、活動内容に合わせた部屋の使い分けをし、快適に過ごせる環境を心がけています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14			1	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1	支援プログラムに基づき支援計画活動を行っています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13		1	1	ケース会議で日頃の子どもの様子を把握し、保護者面談や送迎時等の保護者との情報を分析し、作成に努めています
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			2	個別支援計画において5領域を含めた総合的な支援が基本とされており、それに基づいて児童一人ひとりに対し支援内容を作成しております
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			2	個別支援計画を基にし、毎月のケース会議で個々の様子や支援について具体的に話し合い支援しています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2		1	毎月の目標を決め、それに基づき日々の担当者が活動内容をプログラムし目的の確認をしている 偏りや固定化しないよう全員が担当し、当日利用の児童に合った活動を心がけています
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	1	6	・希望がありません ・今は無くても良いと思います	児童クラブや児童館等の交流は計画しておりません。放デイの通所を知られたくないという児童の気持ちや保護者の気持ちを考慮し、考えていかなければならない現状です
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14			1		契約時に説明し、毎年年度初めに書面にてお知らせしております。変更等につきましては随時お手紙等にて配布いたします
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14			1		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4		1		研修会等は行えておりませんが、家族参加のイベント時に保護者会や情報共有の場を設ける等しています
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13	2				送迎時等を利用し、情報共有に努めておりますが、仕事等により会う機会が少ない保護者様に対して情報発信や状況を伝えられていない場合はコドモンにて情報を共有しています。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2		1		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2				日々の子どもの言動や変化に対し当人の感情や立場を受け止め理解したうえで話を切り開いたり、具体的な言葉かけをするよう心がけております

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1	1	働いている保護者も多く半日企画の保護者会には出席人数も集まらず開催が難しい為保護者参加のイベント時に時間を設け、保護者会や家族支援を行うようにしている また、保護者参加のイベントには兄弟で参加できるように企画し、交流の場を設けています
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14		1	送迎時における情報やお話・電話での相談・申入れに対し職員間で共有し対応できるようにしておりますが、保護者への認知・説明は不十分であると思われる為今後の課題といたします
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13		2	休み時間等による子どもたちの話を聞いたりやりたい事や自分の意思を伝えられるような環境も作りコミュニケーションが取れるような会話を心がけております また、コドモン導入後は以前のオレンジノートの時より保護者からの情報が少なくなっているような気がしており、今後の課題といたします
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			毎月のお便り・日程表で各月ごとの行事や活動の情報を発信しています。 本後はHPも活用し発信できるように環境を整えていきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14		1	個人情報に関わる主要書類等は鍵のかかる倉庫にて管理（鍵の持ち出しも管理） また、日頃の療育や活動に関する情報は部外者の目に触れないよう徹底しております。 また、情報の含まれた文書や物に関しては社外持ち出し禁止にし、使用時以外は鍵のかかる倉庫に入れ管理しています。 スタッフにおいては雇用契約時に社内情報の守秘義務について説明し、退職時においても確認・説明をしています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		社内マニュアルは策定されており、訓練や想定外についてはその都度ミーティング等行っているものの、保護者に対しての提示・説明等は詳しくしておらず、今後の課題として改善いたします
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			毎月一度様々な災害を想定し、避難訓練を行っています。日程表やお便りでお知らせしています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		義務化されている安全計画を作成し、虐待防止・身体拘束・感染症対策・自然災害事業計画・防災訓練等研修を行い、また毎月の避難訓練により安全確認や安全点検の見直し再確認を行っております。ホームページでも周知しております
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1		事故や体調変化、感染症や送迎時における何らかの事情があった場合、情報確認後すぐに保護者へ連絡しています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1		一人ひとりの特性を考えながら少しでも安心できる環境になるように努めます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	3		学校の疲れやお友達と遊びたい。また、行事等その時々の子どもの不安定な時期に通所を渋る事があるように思います。 成長に伴い自分の意思も強くなり活動内容の好き嫌いで楽しい・つまらないがあるようです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1		今後ご意見情報を頂きながら満足していただける支援に繋がってまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス オレンジ2	公表日				
		2026年3月31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		年齢差・対格差、その日の利用状況を見て各部屋の使い分け等をし、スペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		当日使用した玩具や絵本等使用した物全て消毒し、清掃時には床や壁等も消毒。また、定期的に窓を開け空気を入れ替え換気にも気を配っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月に1度会議に実施。特にチェック、対策をしっかりと行えるよう職員全員の情報共有を行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		その都度意見や情報を共有し業務に取り入れたりしている。また、全体会議にて精査し、業務改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース会議やアセスメントによる情報共有をし、サービス計画原案作成後職員全員で内容確認し、理解したうえで作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の共有及び専門的支援計画に基づいて活動計画を立てて支援しています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日までに担当者が支援内容を考え、当日の出席出勤状況を確認したうえで役割や内容を伝えている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		パート職員（勤務時間の都合上）以外の職員で子どもの様子や主に反省点等を共有し、以降の参考にしています。また、パート職員には出勤時に伝えるようにしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		休み時間や長期休みに自己選択や子ども同士で意見を交わし、自分たちで決定する機会を設けています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			放デイ通所を知られたくないという子どもの思いや希望しないという保護者の意見もあり現在は行っていません
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングや研修の機会は作れていないが、家族参加の行事等により情報提供等を行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々子どもの様子を見ながら異変を感じた時や困り事があるようなときは面談を行い何らかの助言、支援を行い相談に応じています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		2か月に1回程度家族参加のイベントを設け保護者交流、兄弟交流する機会を提供している。イベント時を利用し、保護者会を開催する等の工夫をしています	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		年度始め年間行事発行。月1回オレンジだよりを発行しています。HPを活用し、情報の発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		オレンジ祭りの際、近隣の方々に挨拶案内を行う等理解を得られるようにしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		月に1回避難訓練を行っています。避難訓練もワンパターン化しないようその都度目的を設定し行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時、年度変わりにフェイスシート、アセスメントシート等に記載・確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○		年度始めや職員入社時に会議を行い、アレルギー児童の確認とマニュアルの再確認を行っていく。アレルギー児童出席日にはスタッフ全員に周知し、対応しています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		年度初めに取り組み内容を配布しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故発生後すぐに職員で共有を行う。ヒヤリハットの作成、ミーティングにて再発防止の検討を行っていきます。起きた事案について定期的に会議で取り上げ風化させず再検討を繰り返していく	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		年度始めに取り組み内容を配布しております。契約時具体的に説明。支援計画に記載し、身体拘束を行うにあたっての内容を細かく丁寧に説明し、納得されたうえで了解を得ています。		